

授業科目の区分	専門分野Ⅱ《精神看護学》				
授業科目	精神看護実践演習（精神に障害をもつ人の看護展開）				
開講年次・学期	2年次・後期				
単位（時間）	1（15）				
担当講師	① 《専任教員》看護師としての実務経験あり				
科目のねらい	精神看護の展開プロセスを理解し、主な状況における精神看護の実際について理解する。				
到達目標	<p>1) 対象の生きづらさ・生きにくさを推測し、対象が病気とうまく付き合いながら生活していくための看護について考えることができる。</p> <p>2) 精神に障害のある対象と関わるうえで必要になる思考過程を、体験を通して学ぶことができる。</p> <p>3) 対象理解を進める中で、対象に向き合う自分自身についての理解（自己理解）をすすめることができる。</p> <p>4) 看護展開をするにあたり必要になる学習課題を自身で見出し、学習したことを看護実践（演習）に活用することができる。</p> <p>5) 体験を通して学ぶ中で、行動しつつ考える力・学び続ける力を高めることができる。</p>				
授業計画	回	内容と方法	事前学習	事後学習	
	1（2h）	<b>演習</b> 「体験学習」 <b>講義</b> 「授業ガイダンス」 「事例紹介」	・精神看護学（概論、臨床看護Ⅰ・Ⅱ）で学習した内容について復習する。	・体験学習後レポート <b>レポート提出有</b> ・事例の患者とかがわる上で必要になる学習をすすめる。 ・病態関連図から書き始める。	
	2（2h） 3（2h） 4（2h） 5（2h）	<b>演習</b> 「事例患者さんに対する看護実践」 「ショートカンファレンス」  <b>演習</b> 「患者理解に向けて」 ※授業の進行状況に応じていずれかの回で行う	・事例患者に関わるための援助計画の立案 <b>援助計画提出有</b>	・事例患者との関わりの実施・結果・評価 ・自身が看護実践をした際はプロセスレコードを活用する。 <b>レポート提出有</b> ・事例の患者とかがわる上で必要になる学習をすすめる。 ・関連図を広げていく。 ・患者理解に向けて <b>レポート提出有</b>	
	6（2h）	<b>演習</b> 「ロングカンファレンス」	・関連図を広げる中で、看護問題リスト・総合目標を検討してくる。	関連図・看護問題リスト・総合目標の追加・修正を行う。	
	7（2h）	<b>演習</b> 「事例患者さんに対する看護実践」 「ショートカンファレンス」	・事例患者に関わるための援助計画の立案 <b>援助計画提出有</b>	・事例患者との関わりの実施・結果・評価 ・自身が看護実践をした際はプロセスレコードを活用する。 <b>レポート提出有</b>	
	8（1h）	<b>講義</b> 「自己理解のために」	実習に向けての疑問点を考える。	全講義の過程を俯瞰し、目標の振り返り（学び・自己の成長と課題）をする。 <b>課題レポート提出有</b>	
	必携文献	1) 武井麻子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1，医学書院，2021. 2) 武井麻子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2，医学書院，2021. 3) 長谷川浩編：系統看護学講座 別巻 精神保健福祉，医学書院，2016.			
	参考文献	1) 本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ著：ユマニチュード入門，医学書院，2014.			
成績評価方法	出席状況・課題レポートにより評価し、6割以上を合格とする。				
備考					